

令和8年度転入・令和9年度入学用
小千谷市立小千谷中学校 上ノ山分校
(学びの多様化学校)

転入学の手引き



令和8年5月
小千谷市教育委員会

1	はじめに -----	1
2	スクールビジョン -----	2
3	小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校の概要 ----	3
4	対象となる生徒 -----	4
5	スクールビジョンを実現するために -----	5
6	教育課程・学校生活など -----	7
7	転入の流れ（現在中学生の方） -----	10
8	入学の流れ（現在小学6年生の方） -----	15
9	上ノ山分校 Q&A -----	17
10	問い合わせ・相談窓口 -----	20



小千谷市イメージキャラクター
「よし太くん」

1 はじめに



学校に行きづらさを感じている子どもたちのための新たな学びの場として、小千谷市では令和8年4月、学びの多様化学校*「小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校（学びの多様化学校）」を開校しました。

学校へ行きたい、学びたいという気持ちがありながら、様々な要因で在籍校に通学できない子どもたちが、「上ノ山分校（学びの多様化学校）」への転入学をきっかけに、他の生徒や職員とかかわりながら学校生活を送り、楽しく、自分らしく活動に取り組み、安心して通学できる学校を目指しています。

* 「学びの多様化学校」とは？

学校に行きづらさを感じ、思うように登校できない子どもたちの実態や状況に配慮しながら、一人一人に合った学びを提供するために文部科学省が特別に指定した学校のことです。

学びの多様化学校では、通常の学校で行われている教育課程（カリキュラム）ではなく、子どもたちの状況に応じて、柔軟で多様な教育課程のもと、教育活動が行われます。



“自分らしく”を大切にできる、新しい学びのカタチ

安心できる学び

- ◎学び直しの場の設定
- ◎一人一人の学習状況に応じた最適な学習支援
- ◎少人数指導による細やかな配慮

つながる場

- ◎安心して自己開示できる仲間づくり
- ◎協働で学び合う学習の設定
- ◎地域、多世代との交流

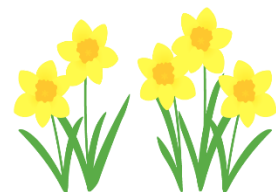
広がる体験

- ◎ワクワクする体験学習の充実
- ◎夢や希望につながる探究活動
- ◎未来を描くキャリア体験活動

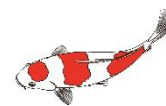
教育目標 「あたたかな学びをひらく」

《 教育目標を支える5つの視点 》

- ① 安心して学べる環境づくり
「安心して過ごせる」心理的安全性の確保
- ② 自己肯定感の回復・育成
「自己肯定感を育む」自分のペースでの学びによる自信の回復
- ③ 主体性・自己決定の育成
「自ら学び、決め、行動する力」特別の教育課程の柔軟性を生かした学びの実現
- ④ 協働性・社会性の育成
少人数での活動や体験的学習を通じた「他者と関わる力」「社会とつながる力」の育成
- ⑤ 探求的な学びの重視
興味関心に基づく探究活動



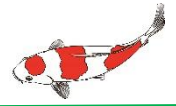
3 小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校の概要



- (1) 文部科学省が指定する「学びの多様化学校（不登校特例校）」です。
- (2) 自分のペースで学べることを大切にし、一般の中学校よりも授業時数を減らすことで負担の少ない教育課程を編成します。また、体験的な学習を行う新設教科を実施します。
- (3) 小千谷中学校の分校として、小千谷市民学習センター「楽集館」の1階に、令和8年4月に開校しました。
- (4) 定員は30名（各学年10名）程度です。
- (5) 各教科の教員のほか、養護教諭、スクールアシスタント、スクールカウンセラー等を配置しています。



4 対象となる生徒

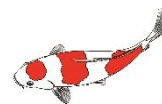


次の(1)～(3)のすべてに該当する生徒のうち、教育委員会が認めた生徒

- (1) 中学校1～3年生
- (2) 不登校状態である生徒または不登校傾向が見られる生徒
- (3) 「小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校(学びの多様化学校)」で学びたいという思いのある生徒

- ・ 小千谷市及び近隣市町村に在住している生徒を想定していますが、学区は特に設定していません。
- ・ 「不登校状態」とは、年間30日以上欠席をし、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況をいいます。
- ・ 「不登校傾向が見られる」とは、①登校することはできるが、別室登校や時間差登校、短時間登校、玄関登校等をしている、②登校せずに、校外教育支援センター「マイルーム」や「^{アイ}will」、フリースクール等に通所している状況等をいいます。
- ・ 少人数学校の特長を活かしたていねいな支援を行いますが、通常の学級であり、特別支援学級や通級指導教室とは性質が異なります。

5 スクールビジョンを実現するために



(1) 校時表の工夫

朝の体調に波がある生徒も安心して登校できるよう、始業時刻を9時30分に設定し、無理のないスタートをサポートします。また、1単位時間の授業時間を45分、1日5時間授業（午前3時間、午後2時間）とし、生徒の負担感を軽減します。それによって、教職員がゆとりをもって生徒と向き合う時間を確保します。

(2) 一人一人に応じたきめ細やかな支援体制の構築

生徒一人一人の心に寄り添う支援を大切にし、生徒が安心して過ごせる環境づくりに取り組みます。「個別の支援計画」を作成し、長期目標、短期目標の達成に向けた具体的な取組について生徒、保護者と共有し、連携しながら一人一人の特性に応じたきめ細やかで丁寧な支援を行います。通知表は廃止しますが、学習や生活の状況については、学期1回の保護者面談にて情報共有を行います。希望によっては、教員やスクールカウンセラーが随時面談を行います。

(3) 生徒の居場所の確保や相談室の設置

登校しても他の生徒のいる場所に入りづらいと感じている生徒については、安心して過ごせる居場所となる空間を確保し、担当職員を配置します。

また、スクールカウンセラーが常駐し、生徒がいつでも気軽に相談できる体制を整えるとともに、定期的に個別カウンセリングを実施し、心の安定を図ります。さらに、教職員が生徒の思いに寄り添った支援を行えるよう日々のミーティングや計画的な研修を通して理解を深め、伴走型の支援を推進します。

(4) 新設教科（特別な教育課程）



① フィールドタイム（週3時間）

小千谷市の自然豊かな環境を生かすとともに、地域のさまざまな方々との関わりを大切にした体験活動を取り入れ、生徒一人ひとりが主体的に学べる教育課程をつくります。また、活動内容はあらかじめ決められたものだけでなく、生徒の「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、生徒と一緒に考え、相談しながら形にしていきます。

具体的には、遠足や自然体験、地域の方々に講師を迎えた畑作や陶芸、手作り体験、小千谷市民の家「おじゃ〜る」でのキャンプや宿泊体験など多様な活動を計画しています。学年にとらわれず共に活動する中で、自然への挑戦や他者との協働を通して、自己肯定感や自己有用感を育み、自ら考え行動する力を伸ばしていきます。



② マイスタディタイム（週5時間）

生徒の学習の理解度や認知の特性など、一人一人の状況に応じて最適な学習支援を行い、自信をもたせ、自己肯定感を高められるような教育課程を設定します。

具体的には、学年を自由に行き来できる ICT 教材（教科書準拠）を導入し、各自のペースや理解度に合わせて学習を進めます。マイスタディタイムにおいて学習する教科や内容は、5教科（国語、社会、数学、理科、外国語）の中から生徒が自主的に選択します。



③ ふれあいタイム（週1時間）

生徒同士や教職員、地域の方々との関わりを大切にしながら、一人ひとりのペースで社会性を育む教育課程を編成します。あわせて、日々の活動の中で、将来の生活や進路について考えるきっかけも大切にしていきます。人との関わりに不安を感じる生徒にも配慮し、安心して参加できる活動から始め、少しずつ関わりを広げていけるようにします。

具体的には、ゆるやかな交流活動、小グループでの関わりの時間などを設け、無理のない形で人とつながる経験を積み重ねていきます。

6 教育課程・学校生活など



(1) 年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	フィールド タイム	マイスタディ タイム	ふれあい タイム	計
1年	140	105	140	105	35	35	70	35	140	0	0	12	35	35	23	910
(標準1年)	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35				1015
2年	140	105	105	140	35	35	70	35	140	0	0	12	35	35	23	910
(標準2年)	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35				1015
3年	105	140	140	140	35	35	70	0	140	0	0	12	35	35	23	910
(標準3年)	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35				1015

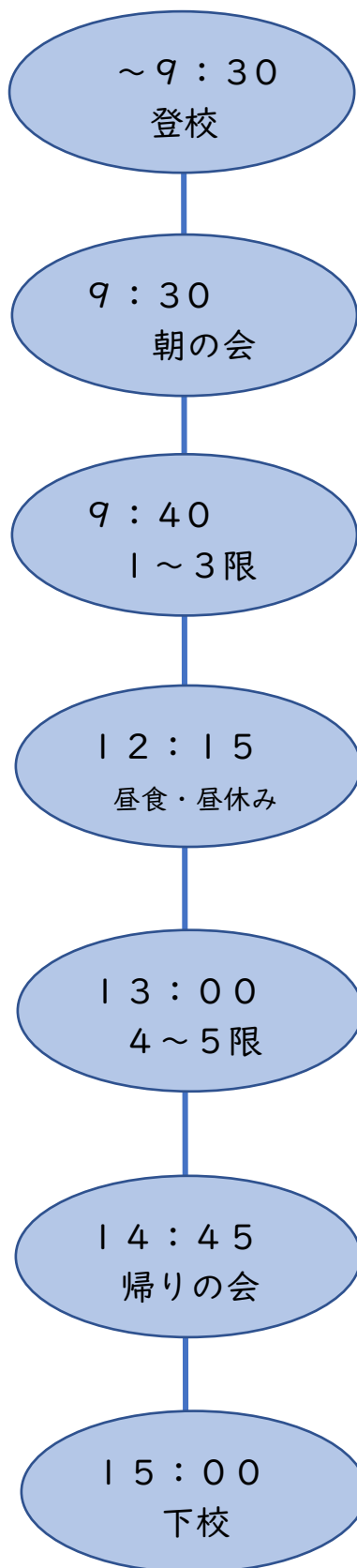
(2) 時間割 (イメージ)

	時間	月	火	水	木	金
登校	9:30					
朝の会	9:30~9:40	1日の予定確認				
1	9:40~10:25	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム
2	10:35~11:20	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習
3	11:30~12:15	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習
昼食・昼休み	12:15~13:00					
4	13:00~13:45	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習
5	13:55~14:40	ふれあい タイム	フィールド タイム	教科学習	フィールド タイム	フィールド タイム
清掃	14:45~14:55	学校や学校周辺の清掃				
帰りの会	14:55~15:00	1日の振り返り				
下校	15:00					

(3) 学年ごとのグループ、学年の枠を超えたグループ

各教科の学習は学年ごとのグループ、それ以外の活動は、学年の枠を超えたグループで行うことを基本としています。生徒は、それぞれ2つのグループに所属し、学習や活動を行いながら、自律性、協調性、社会性を育みます。複数の教員が各グループを担当し、相談窓口になります。

(4) 1日の流れ (イメージ)



【登校後】

上履きにはき替え、ロッカーに荷物を入れます。朝の会まで自分の好きなコーナーで過ごします。自分の心と身体を見つめ、記録します。

【朝の会】

朝の会は、全員で行います。全体への連絡などを行い、学年グループごとに1日の予定の確認をします。

【1~5限】

教科の学習は主に学年グループごとに行います。生徒の皆さんの状況に合わせて、全員または個人で学習を進めます。また、教科学習のほか、自分の理解度に合わせて学習を行う「マイスタディタイム」、体験活動を中心とした「フィールドタイム」、関係づくりを重視した「ふれあいタイム」を実施します。

【昼食・昼休み】

昼食は、持参した弁当を食べます。なお、学校で業者から弁当を注文することもできます。好きな場所でゆっくり楽しく食べましょう。昼休みは、グラウンドで運動をしたり、本を読んだり、友人や先生とおしゃべりしたりしてリラックスして過ごします。

【帰りの会】

帰りの会では、学年グループごとに、1日を振り返り、翌日の予定の確認などを行います。

(5) 校内のレイアウト (楽集館 1階)



相談室

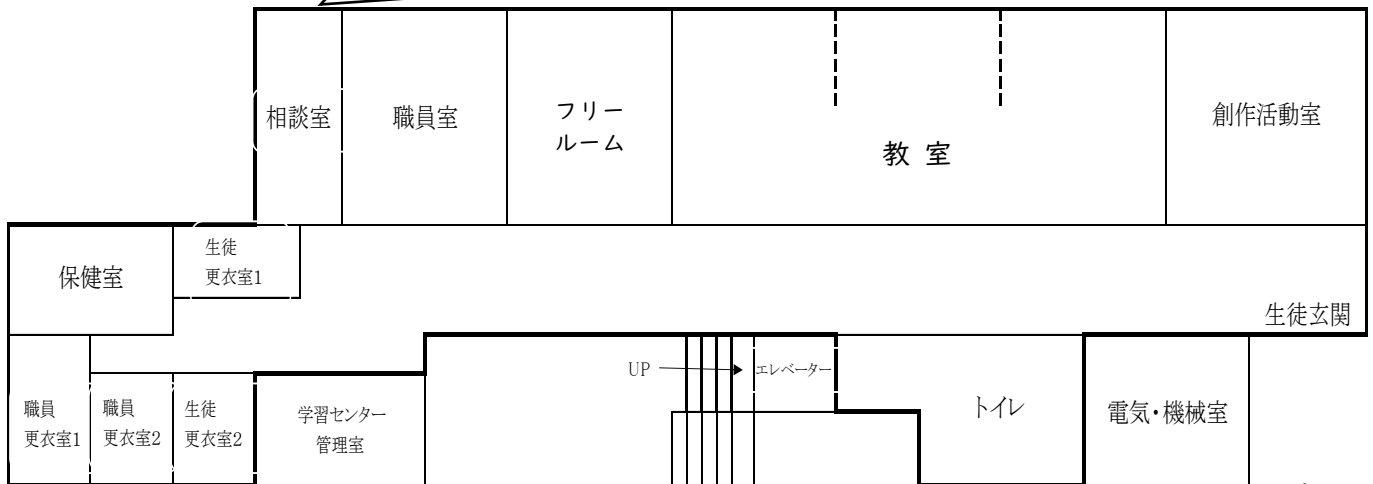


フリールーム



教室

相談室のほか、教室に入りづらいと感じている生徒の居場所も確保します。



楽集館利用者玄関と学校とは壁で仕切られています。

楽集館利用者とは別の出入り口から登下校します。



楽集館正面玄関



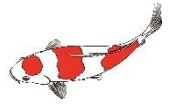
生徒玄関



校舎

※ 必要に応じて、楽集館 2、3 階の施設も借用して活用します。

現在中学生の方はこちらです



7 転学までの流れ

	内 容	その他
(1)	在籍校への申し出	転学を検討されている方は、在籍校にその旨を申し出てください。 ※在籍校から所管の市町村教育委員会を経て、小千谷市教育委員会に情報共有されます。
(2)	上ノ山分校 学校見学	親子で来校いただき、学校見学をしたり学校説明を受けたりしていただきます。
(3)	校外教育支援センター 「I will (あいる)」体験通級 ※「校外教育支援センター体験通級依頼書」は(2)の学校見学の際にお渡しいたします。	①「校外教育支援センター体験通級依頼書」にご記入の上、 <u>在籍校</u> にご提出ください。 ★市内在住の方は 記入例 P11 ★市外在住の方は 記入例 P12 <u>様式が異なります。ご注意ください。</u> ②「I will (あいる)」にて2～3週間程度の体験通級をしながら、上ノ山分校の活動を見学したり、参加したりします。 ※「I will (あいる)」は中学生対象の教育支援センターです。小千谷市民学習センター「楽集館」3階の一室をお借りして開設しています。
(4)	教育委員会相談会 (生徒・保護者)	「I will (あいる)」の体験通級を経て、転入を希望される方を対象に実施します。
(5)	転学申請書または 区域外就学許可願い 提出 ※ 記入例 P13 ※ 記入例 P14 ※上記の書類は、 <u>教育委員会相談会を経ないと</u> 上記の書類はお渡しできません。	①在籍校に上ノ山分校への転学の意思を申し出てください。 ★市内在住の方 ②「転学申請書」にご記入の上、 <u>在籍校</u> にご提出ください。 ★市外在住の方 ②「区域外就学許可願い」をご記入の上、 <u>小千谷市教育委員会</u> に提出ください。

校外教育支援センター体験通級依頼書 記入例

※市内在住の方

校外教育支援センター体験通級依頼書

令和〇年〇月〇日

〇〇〇市立 □□□中学校長 様

体験通級を希望する施設（いずれかに○）

・マイルーム（小千谷小SSR）

・I will（あいる）

住所 小千谷市城内●-■-▲

保護者

氏名 小千谷 紬

電話 090-1530-0798

小千谷 よし太 を 上記へ体験入級させたいのをお願いします。

学年 組	Ⅰ 学年 5 組	男・女
児童生徒氏名	小千谷 よし太	
通級方法	保護者送迎	
希望期間 ※2～3週間程度で 記入ください	令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで	
配慮をお願いしたい こと (あれば記入ください)		

※電子データでの作成は可ですが、保護者氏名は直筆をお願いします。

※市外在住の方

校外教育支援センター体験通級依頼書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

〇〇市立△△中学校長 様

小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校への転学を検討する上で、小千谷市校外教育支援センター「I will (あいる)」を利用することを希望します。

住所 〇〇市△△1-2-3

保護者

氏名 小千谷 縮

電話 090-1234-5678

(生徒氏名) 小千谷 よし太 を 上記へ体験入級させたいのでお願いします。

学年 組	2 学年 2 組	<input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女
児童生徒氏名	小千谷 よし太	
通級方法	保護者送迎	
希望期間 ※2～3週間程度で記入ください	令和○年○月○日 から 令和○年○月○日まで	
配慮をお願いしたいこと (あれば記入ください)		

転学申請書 記入例

※市内在住の方

小千谷市教育委員会教育長 様

令和〇年〇月〇日

住 所 小千谷市城内●-■-▲

保護者氏名 小千谷 紬

電話番号 090-1234-5678

小千谷中学校分校転学申請書

小千谷中学校分校への転学を希望するため、次のとおり申請します。

ふりがな 児童生徒氏名	おぢや よした 小千谷 よし太
生年月日	平成〇年〇月〇日
住 所	〒947-0028 小千谷市城内●-■-▲
電話番号	090-1234-5678
在籍校・学年	小千谷市立〇〇小学校 6年
通学方法	登校時：保護者の車 下校時：徒歩
特記事項	

※市外在住の方

区域外就学許可願

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

小千谷市教育委員会 様

住 所 〒999-0000

〇〇市△△1-2-3

(TEL 090-1234-5678)

保護者名 小千谷 縮

下記により、区域外就学を許可くださるようお願いいたします。

記

ふりがな 児童生徒氏名	おぢや よした	性別	生年月日	平成〇年 〇月 〇日生
	小千谷 よし太		学年	中学 2年
学区該当校	〇〇市立△△中学校			
通学希望校	小千谷中学校上ノ山分校			
現住所	〇〇市△△1-2-3			
旧住所				
期間	令和8年9月1日 から 令和10年3月31日 まで			
通学方法	保護者の送迎			
理由	学びの多様化学校で教育を受けたいため。			

※ 保護者は、太線内を記入の上、教育委員会へ提出してください。

現在小学6年生の方はこちらです



8 入学までの流れ（予定）

	内 容	時 期	その他
(1)	入学説明会 (生徒・保護者)	第1回 9月17日(木) 13:00~15:00 第2回 9月26日(土) 10:00~11:30	入学を検討されている方は、 <u>どちらかの回</u> にご参加ください。 各回の内容は同じです。
(2)	体験入学 (小学校6年生 対象)	第1回 10月17日(土) 10:00~12:00 第2回 11月8日(日) 10:00~12:00	<u>各回の内容は異なります。</u> 両日 参加いただくことで、本校のイ メージをさらに膨らませること ができますので、両日続けての 参加をお勧めします。
(3)	教育委員会 相談会 (生徒・保護者)	12月7日(月) ~12月11日(金) ※実施日時は個別に連絡しま す。	入学を検討されている方は、 <u>必 ず</u> 申し込んでください。
(4)	入学申請書 または 区域外就学許可 願い提出 ※ 記入例 P16 ※ 記入例 P14	1月上旬~ ※「入学申請書」または「区域 外就学許可願い」は、 <u>教育 委員会相談会を経ないと</u> お 渡してできません。	①在籍校に上ノ山分校への転入 の意思を申し出てください。 ★市内在住の方 ②「入学申請書」にご記入の上、 <u>在籍校</u> にご提出ください。 ★市外在住の方 ②「区域外就学許可願い」をご記 入の上、 <u>小千谷市教育委員会</u> に提出ください。
(5)	保護者個別面談	2月	入学対象の方に個別にご案内し ます。
(6)	入学者説明会 (生徒・保護者)	3月	入学対象の方に個別にご案内し ます。

※市内在住の方

入学申請書 記入例

小千谷市教育委員会教育長 様

令和〇年〇月〇日

住 所 小千谷市城内●-■-▲

保護者氏名 小千谷 紬

電話番号 090-1234-5678

小千谷中学校分校入学申請書

小千谷中学校分校への入学を希望するため、次のとおり申請します。

ふりがな 児童生徒氏名	おぢや よした 小千谷 よし太
生年月日	平成〇年〇月〇日
住 所	〒947-0028 小千谷市城内●-■-▲
電話番号	090-1234-5678
在籍校・学年	小千谷市立〇〇小学校 6年
通学方法	登校時：保護者の車 下校時：徒歩
特記事項	

9 上ノ山分校 Q&A



Q1 「上ノ山分校」と通常の学校との違いは何ですか？

上ノ山分校では、生徒一人一人のペースに合わせて学習を進めます。また、通常の学校よりも朝の登校時刻を遅らせ、午前3時間、午後2時間の授業を実施し、15時には下校します。教科の学習以外にも体験活動の時間、教科の学び直しの時間、他の生徒とコミュニケーションをとる時間を設けています。

Q2 校外教育支援センター「マイルーム」「I will (あいる)」との違いは何ですか？

「マイルーム」「I will (あいる)」は、現在の在籍校に籍を置いたまま、交流活動や学習を通して、学校生活への復帰を図ることを目的としています。

上ノ山分校は、入学・転入する必要がある学校で、独自の教育課程のもと教科の学習や活動を進めていきます。「I will (あいる)」では、上ノ山分校への転入を検討している中学生（市内外問わず）が上ノ山分校の授業を見学・体験することも可能です。

Q3 年度途中の転入は認められますか？

上ノ山分校への転入学は、本人にとってそれが最適の選択肢であるかどうかを慎重に判断する必要があります。年度途中での希望がある場合は、学校体験や教育委員会相談会、保護者面談をていねいに行ってください。

Q4 上ノ山分校で学ぶことによりエネルギーがたまり、元の学校に戻りたいとなった場合はどうなりますか？

原則として「卒業まで上ノ山分校で学ぶ」ことを前提に転入学することになります。上ノ山分校からの転出を希望する場合は、本人にとってそれが最適の選択肢であるかどうかをていねいに相談してまいります。

Q5 どのような基準で転入学する生徒を決定しますか？

「前向きに頑張りたいという姿勢」「学ぶ意欲や動機」「欠席の状況」「支援の必要性やその対応」の観点から総合的に判断します。

Q6 本人が外出をためらっている状況ですが、リモートでの対応はありますか？

上ノ山分校では、学校に通学することを原則としており、学校閉鎖等の特別な場合を除き、リモートでの対応の予定はありません。外出をためらっている状況であれば、現時点では別の支援が適していると考えます。転籍についての相談は、随時受け付けます。本人が「上ノ山分校で学びたい」という気持ちをもったときに転籍を選択肢に入れていただければと思います。

Q7 進路はどうなりますか？

小千谷中学校の卒業となります。卒業後の進路については、通常の中学校と同様です。個別に話し合いを行い、本人の希望を尊重して進路相談を行います。

Q8 通学方法はどうなりますか？

徒歩及び自転車、公共交通機関で通学します（越後交通バス 小千谷～川西～十日町線「上ノ山三叉路」バス停から徒歩3分）。保護者による送迎も可能です。

Q9 特別な費用はかかりますか？

公立の中学校なので、授業料は必要ありません。ただし、他の中学校と同様に教材費や校外学習費等は必要となります。

Q10 制服はありますか？

指定された制服、運動着、内履き、通学靴等はありません。

Q 11 給食はありますか？

給食の提供はありません。昼食を持参してください。なお、学校で業者から弁当を注文することもできます。個別にご相談ください。

Q 12 部活動や学校行事はどうなりますか？

上ノ山分校に部活動はありません。また、学校行事は、通常の学校で行われている修学旅行や体育祭等はありません。今後生徒のみなさんが行いたいと思う行事と一緒に作り上げていきたいと考えています。

Q 13 どんな先生がいますか？

現在の教職員の配置は、

- ・教頭
- ・各教科の職員（5名）
- ・養護教諭
- ・事務職員
- ・スクールアシスタント
- ・スクールカウンセラー
- ・管理員

です。なお、校長は本校の小千谷中学校長が兼務します。

Q 14 授業はどのように行いますか？

生徒の学習状況や心身の状態、教科の目標に応じて、学年ごとのグループ、学年の枠を超えたグループ、個別、全校など様々な形式で行います。

Q 15 他の学校よりも少ない分（削減された分）の学習はどうなりますか？

他の学校よりも授業時数は少ないですが、学習指導要領に定められた学習内容については、各教科や新設教科の中ですべて扱っております。

10 問い合わせ・相談窓口



◇ 小千谷中学校上ノ山分校についての問い合わせ・相談

窓 口 小千谷市教育委員会 教育・保育課
〒947-0028
小千谷市城内4丁目1番38号
小千谷市健康・こどもプラザ あすえ～る 2階

電 話 0258-83-3519 (平日 8:30～17:15)

メー ル edu@city.ojiya.niigata.jp

※ 上ノ山分校（学びの多様化学校）の詳細については、当校ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.city.ojiya.niigata.jp/manabi/>



※ 「入学説明会」や「体験入学」などの詳しい内容や申し込み方法などにつきましては、随時当校ホームページに掲載いたします。

◇ 学校生活（不登校、登校しぶりなど）についての問い合わせ・相談

- 小千谷市教育センター 相談室
小千谷市土川1丁目5番53号(小千谷市教育センター内)
電話：0258-82-6750 (平日 9:40～16:30)

- 小千谷市教育委員会 教育・保育課
小千谷市土川1丁目5番53号 (あすえ～る 2階)
電話：0258-83-3519 (平日 8:30～17:15)